



Web会議システムを用いた 遠隔インターンシップの試み

平成28年度教育改革ICT戦略大会

東海大学情報教育センター 白澤秀剛

sirasawa@tokai-u.jp

背景1（経済格差の問題）

- 地域経済の縮小が人口減少を加速
- 地方と東京圏の経済格差が拡大
- 大卒人材が東京圏へ流出
- 地域の課題解決の中心的役割を担う
人材の育成が地(知)の拠点である
大学の使命

出典—文部科学省(H27)



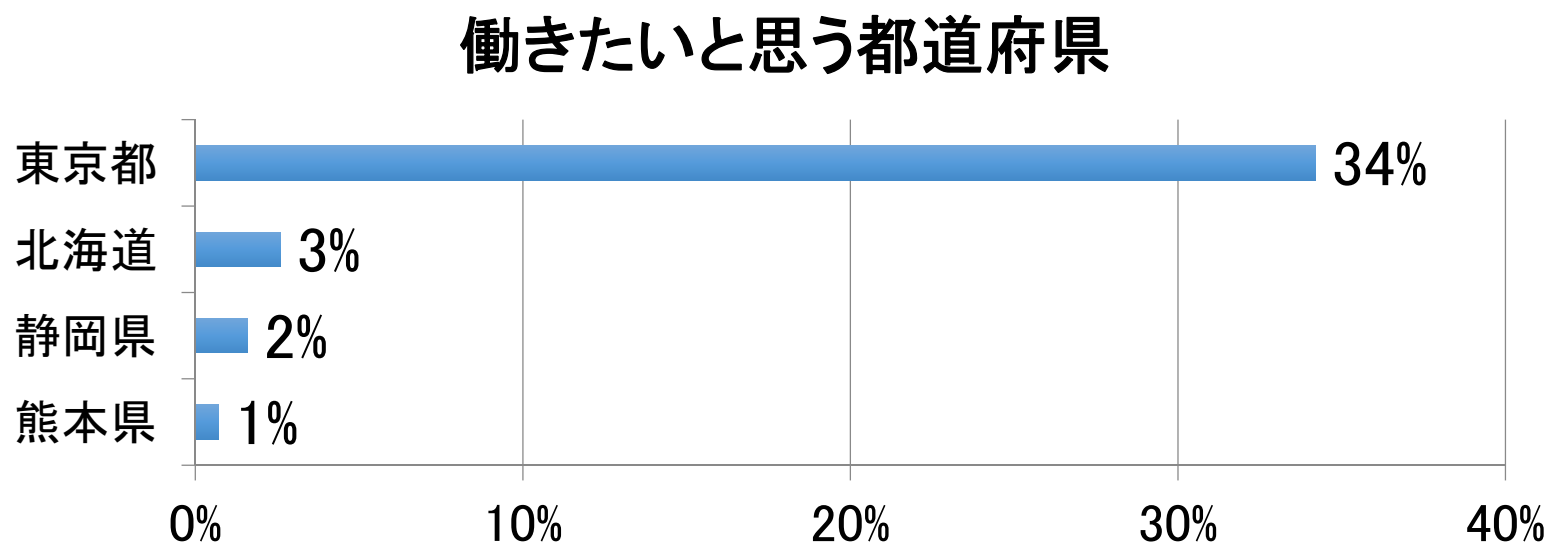
若者人材の東京圏集中

背景2(働きたいと思う都道府県)

- 働きたいと思う都道府県は東京都が圧倒的

第1位 東京都 34%

2016年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査より

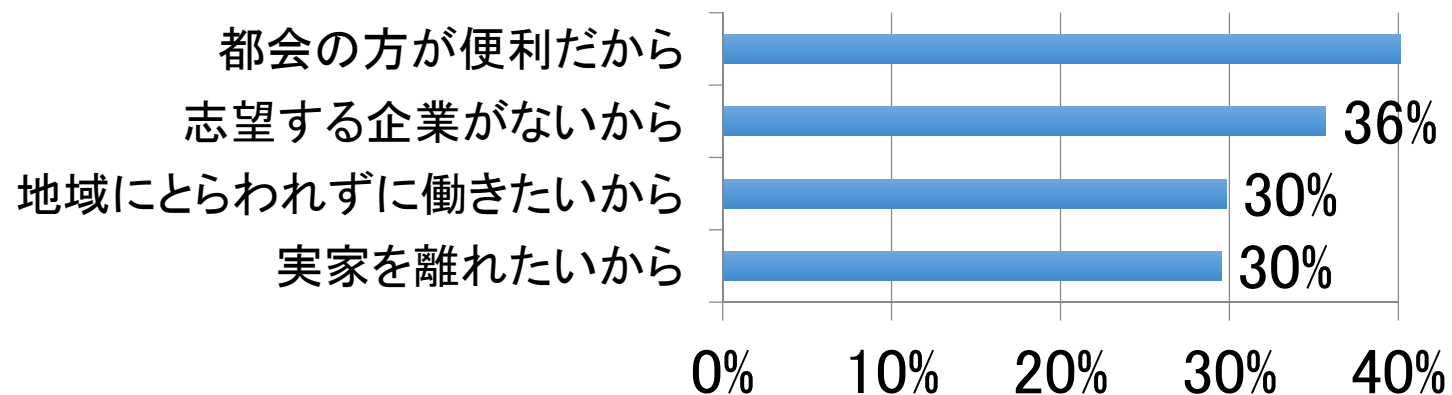


背景3(地方企業が嫌なわけではない)

- 「地元就職したくない」のではなく、
「**地元企業の情報がない**」
「**地域にこだわりがない**」
ことがわかる

2016年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査より

地元就職しない理由



背景4(なぜ地元就職をしないのか?)

- 地元地域のインターンシップに参加しようと思ったが参加できなかった: 24.7%
参加しようと思わなかった: 50.9%
- 「交通費の問題」、「授業を休む問題」を解決できれば、出身地域の企業のインターンシップに行きたい学生は存在する。
- 地方から湘南校舎に来ている学生に、Uターン就職がしやすい環境を整えればニーズはある。



産学連携実施体制



文部科学省

地(知)の拠点

東海大学
地(知)の拠点整備事業

- 学生募集
- 事前研修
- システム運用

日本ITイノベーション協会

- 実施企業募集
- マッチング
- 事前・事後研修

映像センター

- システム選定
- Webカメラ

シスコシステムズ
合同会社

- Web会議システム



TOKAI UNIVERSITY

Copyright, 2016 H.Shirasawa

遠隔インターンシップ実証試験協力企業

北海道

- 人材派遣業1社
- 取材型

熊本県

- 製造業1社
- 取材型

神奈川県

- 製造業1社
- 課題型

遠隔インターンシップの特徴

- Web会議システムで湘南校舎と地方企業を接続
(Web会議システムでの国内インターンシップは日本初)
- 専用の事前研修プログラムを準備
(日本ITイノベーション協会(JITA)協力)
- インターンシップは「取材型」と「課題型」の
2種を実証実験



システム構成

クラウド上のWeb会議サーバ



Cisco
webex

湘南校舎



学生用Webカメラ(グループ用)
ConferenceCam CC300e

北海道・九州・神奈川
の企業



企業用Webカメラ(1人用)
BCC950 ConferenceCam



遠隔インターンシップ準備の流れ



事前研修

非言語 コミュニケーション研修

- ・ 第一印象の作り方
- ・ Web会議で重要になるノンバーバルコミュニケーションの訓練

言語 コミュニケーション研修

- ・ 効果的な質問の方法
- ・ 大人としてふさわしい表現方法
- ・ Web会議用の反応の返し方

ITスキル研修

- ・ ビジネス電子メールの書き方
- ・ 報告書の書き方



特性測定とマッチング面談

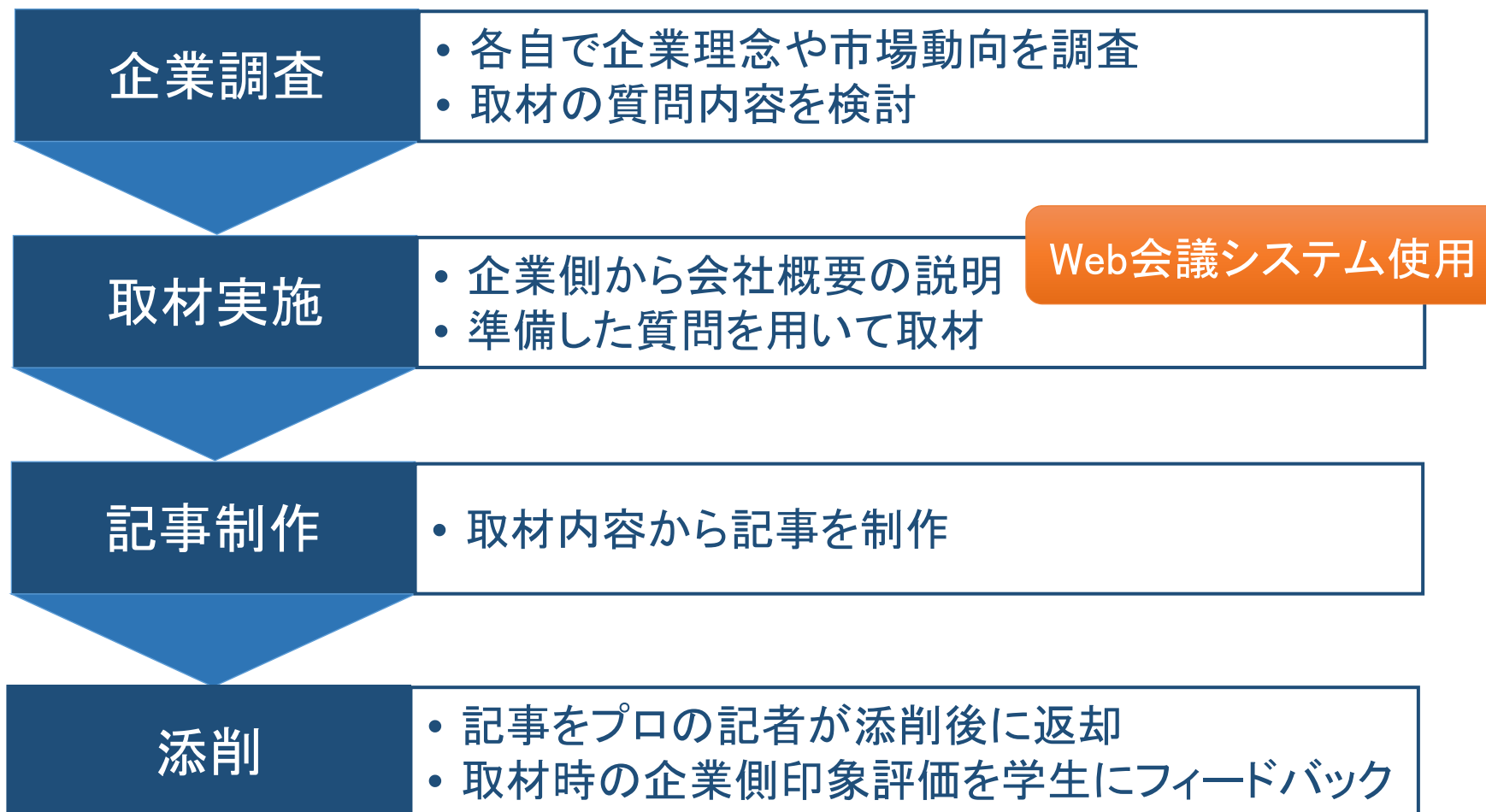
- 特性測定
 - コミュニケーションスタイル(CSI)
 - エゴグラム
- 希望企業調査
 - アンケート
 - チャットシステムによる個別相談
- マッチング
 - 学生とのマッチング面談
 - 企業側担当者の最終承認



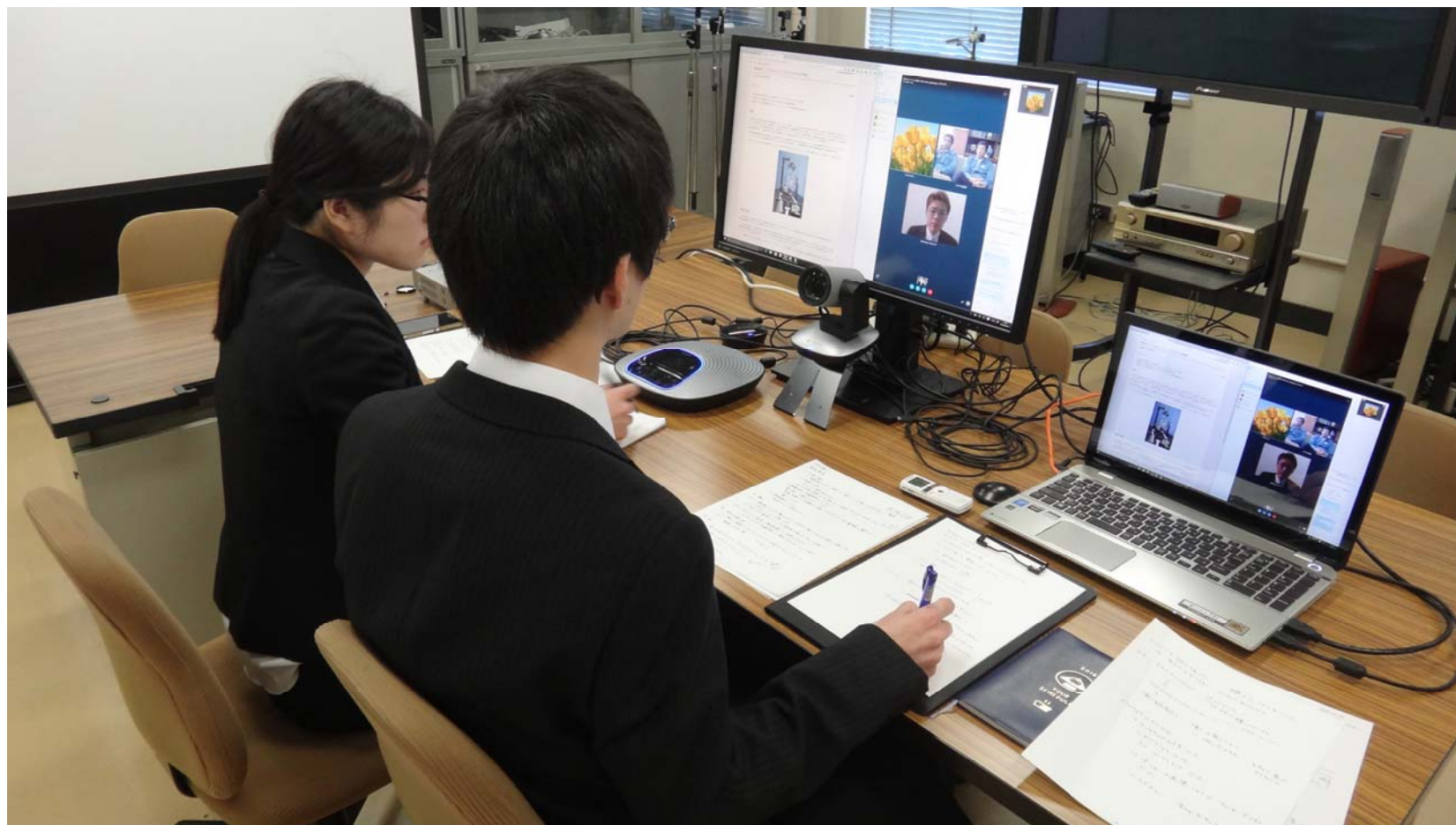
実施風景1（事前研修）



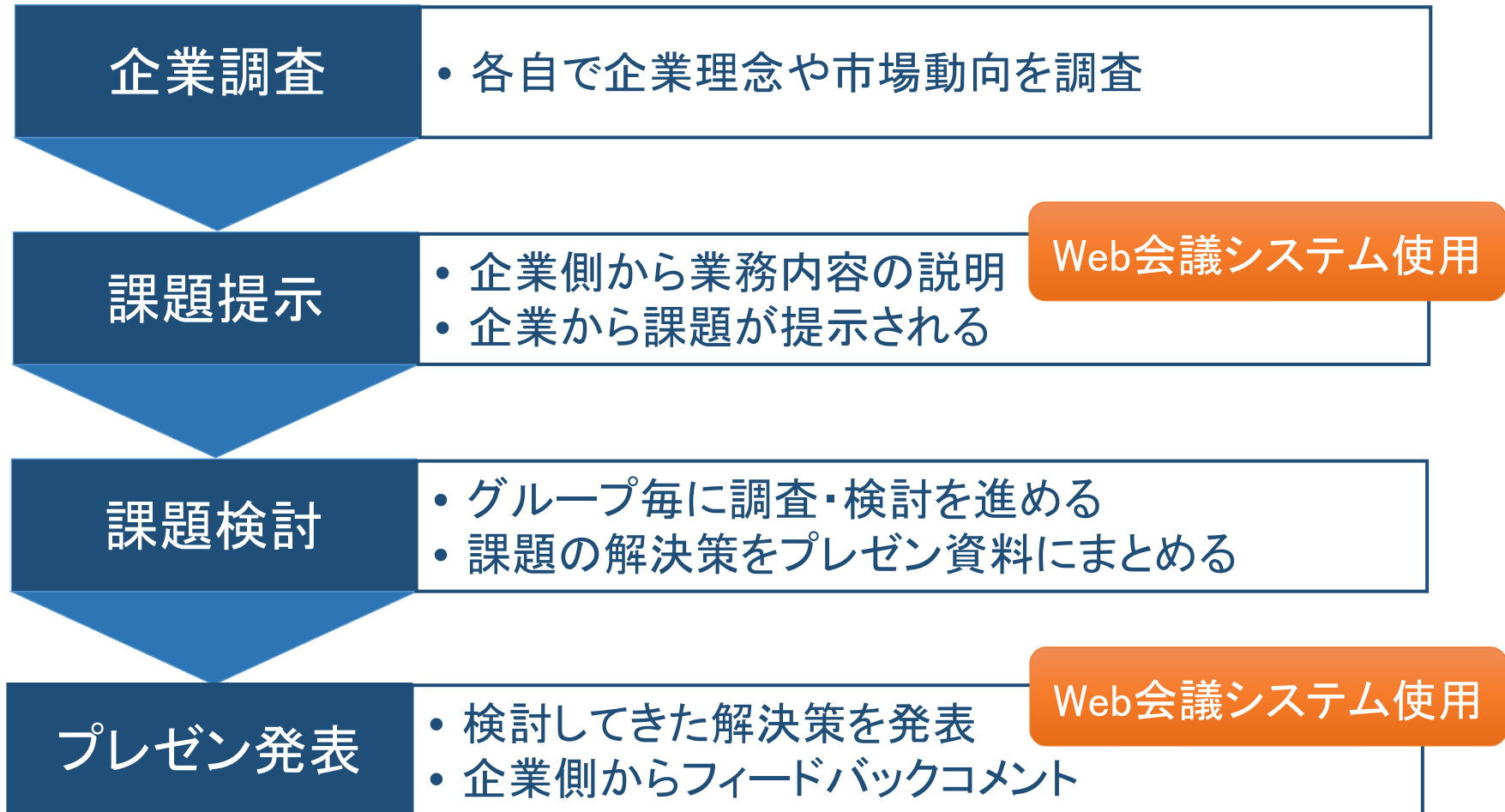
取材型遠隔インターンシップの流れ



実施風景2(取材型)



課題型遠隔インターンシップの流れ



実施風景3(課題型)



企業の感想

最初は遠隔で本当にできるのかと思った。

Web会議を使っの仕組みの説明を聞いてから本番までは、とても楽しみであった。

遠隔での会話はありだと思った(発言ママ)

学生とコミュニケーションを取るのは、社長自身のためでもあり、自分の学びもあった。(社長様)

子供たちのエンジンをフルに育て上げる教育プログラムを作り上げて欲しい



参加学生の感想

男子学生

- 社会を知る機会を得られ**自己成長に繋がった**。非常に面白く、参加して良かったと感じる。A社に就職したい。

男子学生

- 一つのインターンシップを時間をかけて取り組むよりも、**いろいろなインターンシップを受けて**多くの経験を積んだ方がいいのではと感じた。

女子学生

- 企業の方から**話を聞く姿勢や質問をする姿勢**を、このインターンシップから学ぶことができたので、その後の企業説明会で満足して変えることが多かった。
(4月時点で内定取得)

実証実験の総括

実績ができ、実施企業の不安は解消されると予想

地方企業に対する学生の誤解はデータ通りと感じた

コミュニケーションスキルの訓練としても有効である

学内実施のため、授業感覚で無断欠席、無断辞退者が出た

マッチング時の辞退予想指摘はかなり正確

最後まで参加した学生の満足度は高かった

マッチングデータの蓄積により就活指導データが得られる



今後の展開

2016年度も継続して実証実験を予定

2017年度サービス化を企業に提案中

データ数を増やして、統計的に意味のある分析を実施

ご興味のある大学・ゼミは是非ご一緒に





Web会議システムを用いた 遠隔インターンシップの試み

平成28年度教育改革ICT戦略大会

東海大学情報教育センター 白澤秀剛

sirasawa@tokai-u.jp